



ライフあけぼの

平成29年5月号



榛名荘まつり
学生ボランティア&
あけぼの苑家族の会の皆様



発行所 一般財団法人 榛名荘
介護老人保健施設 あけぼの苑 No.64

平成二十九年年度 家族の会 会長挨拶

会長 小材 敏雄

陽春の候、家族の会会員の皆様におかれましては、ご清祥の事とお喜び申し上げます。日頃より家族の会の活動に際し、ご協力を頂き感謝申し上げます。

第二十三回家族の会総会が、平成二十九年二月二十三日（木）午後一時三十分より、中央病棟四階にて開催され、ご来賓、家族の会の皆様、大勢のご出席を頂きました。始めに平成二十八年度の事業報告と承認、続いて任期満了に伴う役員改選が行われ、私が皆様の推薦を受け、引き続き会長役をお受けする事になり、平成二十九年年度事業計画案も賛成多数で承認されました。

今年度も皆様の力をお借りして、微力ながらお役に立てればと思います。宜しくお願い致します。

先日の榛名荘まつりは、早朝に大雨が降り、心配しましたが、始まる頃には天候も回復し、五分咲きの桜の下で、多くの出し物を利用者様と家族の皆様が一緒に見学し、楽しい一時を過ごされた事と思います。大勢の見物客で大変賑やかなお祭りでした。

家族の会のボランティアの皆様と社会福祉専門学校のボランティアの生徒さん達と協力して風船作りをしました。次々に訪れる子供達。風船を選ぶ目は輝いていました。風船は大人気で、一時は作るのが間に合わず、用意していた風船も全て無くなる程の盛況ぶり。私も久し振りに風船を手にして子供の頃を思い出し、懐かしくなりました。

最後に成りましたが、今回の祭り開催に際し、多忙の中、利用者様を会場に引率して下さいましたあけぼの苑スタッフの皆様、会場の設営や雨の中、駐車場整理や進行等、ご苦労下さいました榛名荘病院、あけぼの苑、ボランティアの皆様、全ての皆様に感謝申し上げます。

あけぼの苑家族の会 総会が開催されました

去る平成二十九年二月二十三日木曜日に榛名荘病院中央病棟四階で第二十三回あけぼの苑家族の会総会が、会長挨拶にあります様に執り行われました。

総会終了後に、歯科衛生士の濱名、言語聴覚士の櫻井、管理栄養士の森下三名による健康セミナー「いつまでも好きな物が食べられるように」から始める健口セミナーを開催いたしました。歯科衛生士による歯周病に関する講演、デンタルフロスの正しい使用方法を模型を使っての実演を行い、続いて言語聴覚士によるお食事の飲み込みに関する講演を行い、最後に管理栄養士によるスマイルケア食の説明と試食会を行いました。参加者の皆様には、歯の健康を保つ健口グッズを記念品としてお持ち帰り頂きました。

今年度は、認知症をメインテーマとした催し物を予定しております。多数の方のご参加をお待ちしております。



東棟行事紹介

今年も一年
健康に過ごせますように



一月 お正月
一日には、毎年恒例の初詣出をし、おみくじを引きました。皆さん、各々の想いを胸に、両手を合わせていました。

十三日には、皆様の健康を祈願し、ダルマを配りました。皆様なじみ深い様子でも喜ばれ、すぐに居室へ飾っている姿も見受けられました。



二月 節分
一日にホールで、節分行事を行いました。
ご利用者様が、赤鬼と青鬼の二つのチームに分かれて、玉入れの対抗戦を行ないました。ご利用者様の方々が、鬼の持ったカゴに向けて、『鬼は外、福は内』と大きな声を出して、『豆にみたてたボールを一生懸命に投げているのが印象的でした。』



三月 ひな祭り
八日にひなまつりを行ないました。女性のご利用者様には、昔を思い出しながら口紅やほほ紅でお化粧をして頂き、お内裏様とお雛様で写真撮影を行ないました。若い頃に戻ってお雛様を見つめ、お内裏様はうっとりとした表情をしているのが印象的でした。写真撮影後は歌をうたっており、おやつを食べて、ひなまつりを楽しみました。青春の「コマでした。』



四月 榛名荘まつり
九日に榛名荘まつりが開催されました。午前中はあいにくの天気で、苑内でわたがしやシュースを召し上がって頂きました。午後になると晴れ間が見え「晴れたね！よかったね！」とステーション前で催し物を楽しまれていました。ご家族様も多くお見えになり、普段では見られない笑顔がみられ、素敵な時間を過ごせました。』

西棟行事紹介

一月、西棟レクルームに特設したあけ西神社で初詣を行いました。

ご自身や家族の健康・美味しい物を食べたい・今年一年良い年になりますようになど、皆様願う表情は真剣でした。初詣の後は、お正月の雰囲気を感じて頂くために皆でおみくじを引きました。



二月に春の始まりである立春の行事として豆まきを行いました。豆の代わりにボールを使用し、「福は一内。鬼は一外」と大きな掛け声を掛けながら鬼の格好をした職員目掛けてボールを投げられていました。豆まきの後は記念撮影を行い、鬼のお面を付けたりと皆様笑顔でした。



三月、レクルームに雛壇を飾り、雛祭り桃の節句を楽しんで頂きました。今年は折り紙を用意し、利用者様・職員全員でお内裏様とお雛様を作りました。おやつには美味しい桜茶とお饅頭を用意して召し上がって頂きました。



四月に榛名荘祭りが開催されました。午前中はあいにくのお天気でしたが午後には天気が回復し、模擬店巡りやステーションで催し物を楽しみました。ご家族様と共に楽しい時間を過ごされた事と思います。



通所行事紹介

一月 新年会

今年、最初の行事は、皆で二種類のゲームを楽しみました。七福神の神様あてゲームは沢山の絵の中から七福神を見つけ出すもので、時にはオリジナルな七福神が完成することもあり、皆の笑いを誘っていました。次いで毎年恒例の上毛カルタ大会を行いました。皆様とても真剣で、白熱した勝負となりました。



一年の無病息災を祈り、年男・年女の利用者様に代表して豆まきをして頂くと、ホール内には「鬼は外、福は内」と皆様の元気な声が響き渡りました。今回のゲームは、利用者様と協力して作成した鬼の貼り絵を使用して、チームに分かれて点数を競うゲームとお題に答えるゲームを行いました。お題には「思い出のデートの場所は？」というような少し照れてしまうものもありましたが、赤くなりながら若い頃の思い出を話して下さいました。

二月 節分



三月 ひな祭り

ひな祭りの由来や、つるし飾りの意味について説明をしました。次に、脳トレ・リハビリを兼ねて「ミツシヨーン イン あげぼの」「貝合わせ二〇一七」というゲームをしました。利用者様と職員とが協力してクイズに答えたり、好みの異性を連れてくるという指令には好みの人を探しに出かけたりと、利用者様と職員が一体となり楽しい時間を過ごしました。



満開の桜のもと、春のお茶会を開催しました。春の陽気の中、桜を眺めながらお茶やお菓子を召し上がり、ひと時の休息を楽しまれました。室内では、時代劇を熱心に鑑賞されていきました。次に行った色花紙を投げて桜の木を作る「枯れ木に花を咲かせましょうゲーム」も、とても楽しんで頂けました。

四月 お花見会



新入職員紹介

①氏名 ②職種 ③趣味・特技 ④コメント

- ①阪本孝行
- ②ケアワーカー
- ③旅行・家庭菜園



④現在 60 歳。皆様のご指導の下、1日1日を大切に頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

- ①嶋崎奈留美
- ②作業療法士
- ③ライブ・音楽鑑賞



④ご迷惑をお掛けすると思っておりますが、笑顔で精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

- ①芹澤和也
- ②介護福祉士
- ③猫と遊ぶこと
- ④努力します。



よろしくお願いいたします。

- ①高橋知宏
- ②ケアワーカー
- ③旅行・カメラ
- ④自転車



④介護は未経験ですが、1つ1つ丁寧に仕事を覚え、実践する様努力致しますので、よろしくお願いいたします。

- ①根津良介
- ②作業療法士
- ③ドライブ
- ④まだまだ知識



経験ともに力不足ではありますが、少しでも皆様の力になれるよう頑張りたいです。よろしくお願いいたします。

- ①船津智哉
- ②理学療法士
- ③登山・水泳
- ④音楽鑑賞・映像



④先輩や他職種の方々にご教授いただき、1日でも早く1人前になれるよう、若さと体力を武器に頑張ります！

異動

堀込菊代	東棟→西棟
茂木博行	西棟→東棟
長壁恵子	通所→東棟
星田稔	東棟→通所
佐藤八千代	あけぼの苑 →あけぼの苑高崎

ボランティア紹介



榛名文化協会 短歌会の皆様



榛名文化協会 書道部の皆様



榛名荘まつりでは学生や家族会の方に参加していただきました！家族会のボランティアの方には写真撮影のご協力もいただきました！
素敵なお写真・作品をありがとうございました！！

就任の挨拶

あけぼの苑東棟 看護師長

桑原 君代



芽吹きが始まった四月、東棟の師長に就任しました。数年前まで榛名荘病院で、お世話になっており、懐かしさと、大きな不安を抱き赴きました。

厳しい職場環境を目の当たりにし、不安と心配は尽きませんが、皆様の仲間に入れていただけるよう学んでいきたいと思えます。

人生の先輩である利用者様には「天丈夫だよ」と声をかけていただき、早々と温かさを頂いています。

老健施設における役割を見つけ、安全な職場、居心地の良い空間づくりを目指したいと思っています。

新境地の未熟者です、今後もしさらなるご指導をいただけますよう、宜しくお願致します。

介護研究シリーズ 2 「在宅生活」 ～その方が望む暮らしとは?～

「施設もいいが、やはり家が一番いい」施設で過ごされている方からこのような言葉が聞かれる事があります。誰も住み慣れた地域、場所で生活したいと思うものです。

しかし高齢化社会に伴い認知症や体の不自由な方が増える中で地域の人たちとのつながり、親族との関係も疎遠になり、自宅での生活継続が困難になる事が増えている現実があります。

このような事から、国としても地域包括ケアシステム（自治体が主となり、出来る限りの自立した生活を自宅中心に過ごす体制）を推進、政策をうち出しています。（出来るだけ介護給付費を抑制したい。自分たちで出来る事はやってもらいたい、という思いもあるのですが・・・。）高崎市でもあんしんセンターの増設や介護 SOS サービス、配食サービス、見守りシステムなど在宅支援に向けたサービスの提供を行っています。

今シリーズでは「在宅生活」その方が望む暮らしを継続するため、老健等の介護サービスを活用しながら在宅生活を継続した 1 例を紹介していきたいと思えます。

事例紹介

A 様（73 歳・女性）要介護度 2 統合失調症、認知機能の低下、脳梗塞後の左半身麻痺。

認知症を有し精神的にも不安定な高齢者で、左片麻痺により生活動作も支援が必要となる。生活歴として、夫の定年後、夫の生まれ故郷である群馬へ 2 人で移住。左半身麻痺の為、夫の介助で入浴や食事準備等は可能であった。夫が他界し独居生活となり近隣との付き合いもなく、また親族は遠方である為、生活援助が得られず生活が困難となった。

日常生活では、嗜好品として飲酒、喫煙があり、依存が高くなっていた。酒、たばこは息子が決まった量を送り管理していたが、足りないからと催促が多くなり、健康にも悪い為、息子が本人と話し合い、禁酒、禁煙を行う事とした。しかし、思い通りにならないイライラからか、ヘルパーへの暴言、近隣の家からたばこの無断持ち出しがあると民生委員から息子に報告があった。居宅ケアマネから当苑相談員がそのような状況に対する対処方法の相談を受け、通所リハビリを開始したが、帰宅願望や大声を出すことが見られていた。生活リズムをつける為、長期利用も視野に入れ、ショートステイ利用開始となった。

次回に… To be continued

高崎市福祉人材バンク
 介護の就職ガイダンス開催のご案内
 「介護の魅力 ～笑顔が生まれる介護～」
 講師はあけぼの苑高崎副介護長2名が務めます。

福祉施設で働いている職員から福祉の現状について理解を深め、さらに就職につながる方法を身につけることを目的に開催されます。

日時：平成29年7月12日（水）午後1:30～3:00

会場：高崎市労使会館 2階 第3会議室

対象者：福祉の職場に就職をお考えの方・興味のある方

参加費は無料、定員が約30名。お問い合わせ先・申し込み先は社会福祉法人高崎市社会福祉協議会 高崎市福祉人材バンク 027-320-2761 までお願い致します。

本研修は働きながらスキルアップを目指される方、これから介護職に就こうとお考えの方、どなたでも受講が可能です。受講をご希望される方は下記の連絡先までお問い合わせをお願い致します。

通信制にて本年も7月からの開講です。面接授業実施場所は榛名荘の施設内での実施(受講数に応じ)を予定しております。お気軽にお問い合わせください。

実務者研修を職場内で実施中！
 受講者募集中です。

介護分野において介護福祉士資格取得を受験するために必要な研修です。幅広い利用者に対する介護提供能力や介護サービスの資質向上のための知識や技術を習得するための研修です。制度改正によりこれまでの訪問介護研修が廃止とされ、介護職としてのキャリアパスが簡潔化されました。このことに関連して、平成28年度から介護福祉士国家資格の受験には実務経験3年に加えて、この実務者研修の修了が義務付けられます。

認定介護福祉士（仮称）

介護福祉士

実務者研修

介護職員初任者研修修了者

実務者研修の修了が必須に



連絡先…群馬社会福祉専門学校
 〒371-0846 群馬県元総社町 152
 TEL：0120-135-294



あけぼの苑 基本方針

- 1：利用者様一人一人の尊厳を守り、自立を支援します。
- 2：安心して満足のいくサービスを提供できるよう職員自ら研鑽に努めます。

F a x
 0 2 7
 (3 4 0)
 5 0 1 1

電 話
 0 2 7
 (3 8 4)
 8 6 1 2

住 所
 高崎市 中室田町 2 2 5 8 - 1

介 護 老 人 保 健 施 設
 あ け ぼ の 苑

家族とあけぼの苑を結ぶ一冊の機関紙「ライフあけぼの」の発行は年3回です。
 気づいた点等ありましたら、何でも結構です。お気軽にご意見をお寄せ下さい。